

神の棲む山

神ミコの棲む山 第二卷

for ADULT

TEXTLESS BY THE UNKNOWN



# P.A. Project

未成年者の閲覧を禁止します。

また、虚構と現実の分別が出来ない方は例え成人に達していても閲覧をお控え下さるよう、お願い申し上げます。

ヌシ  
神の棲む山

ひなこ  
～『断章・日向子』その1～



てるき熊

ヌシ  
神の棲む山 第二巻

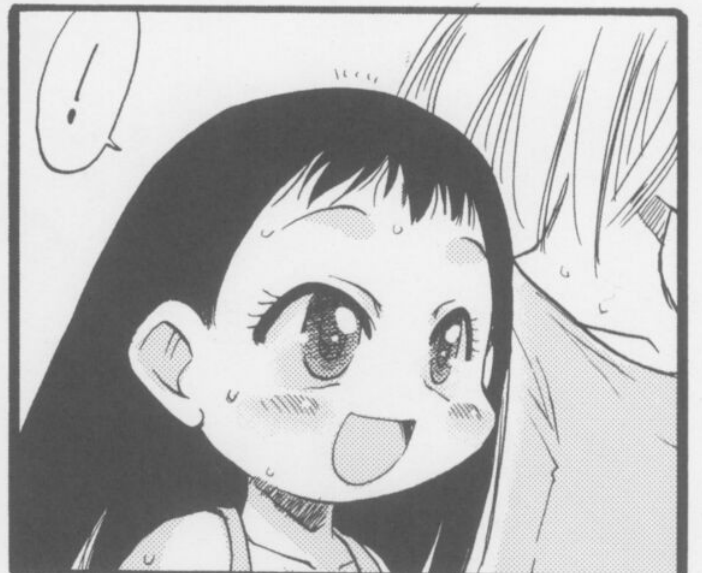
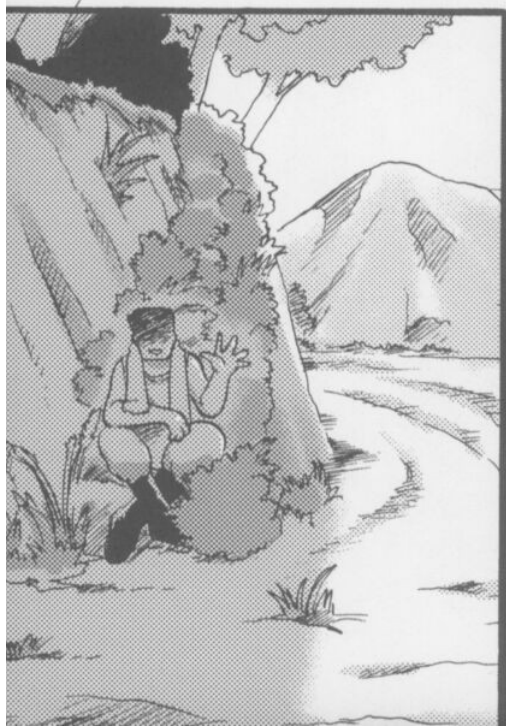
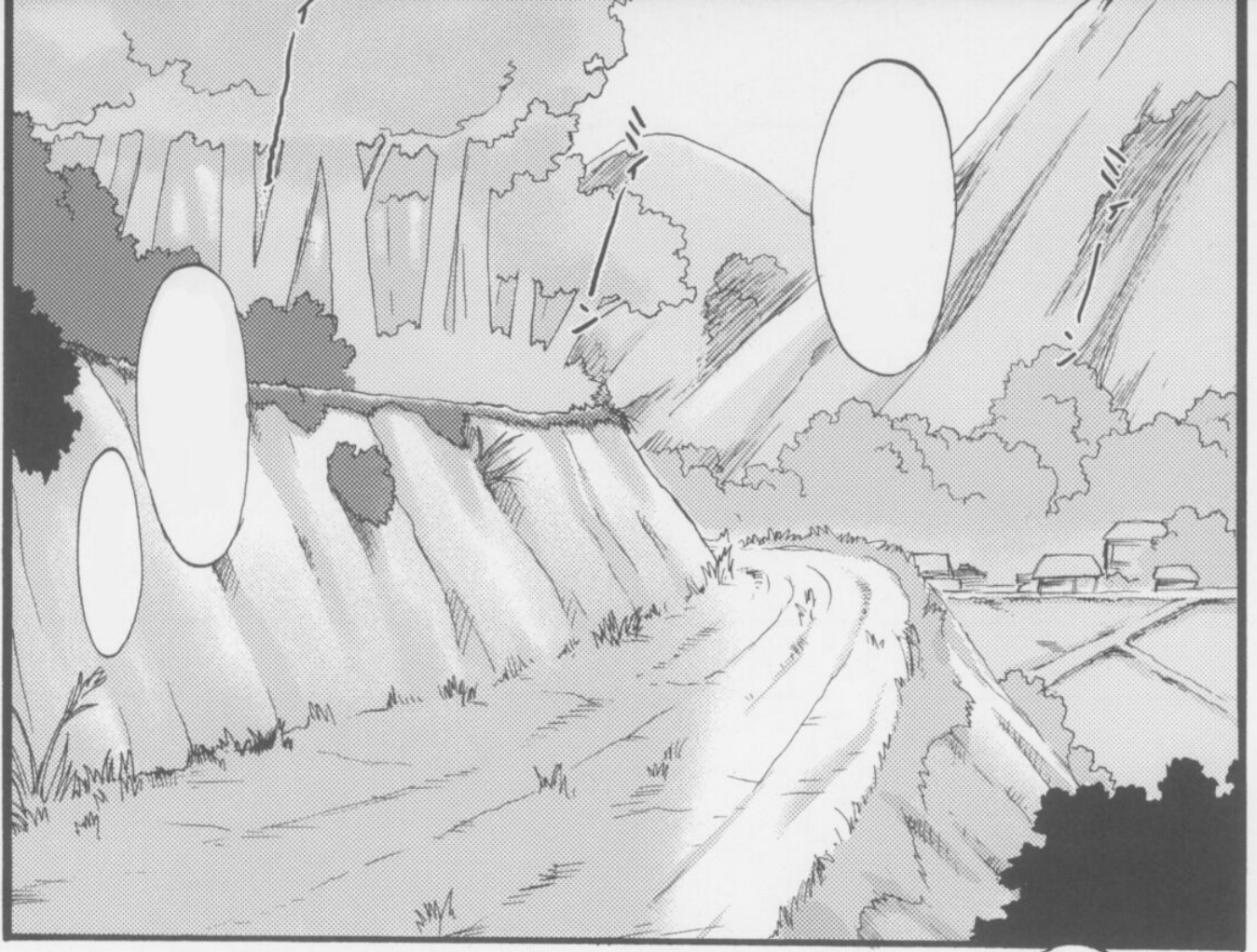
●断章・日向子 その一 5

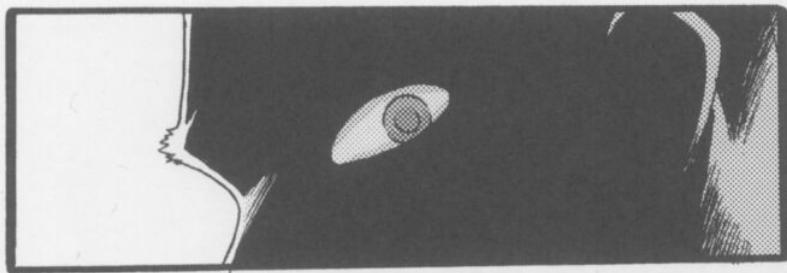
●解説 23

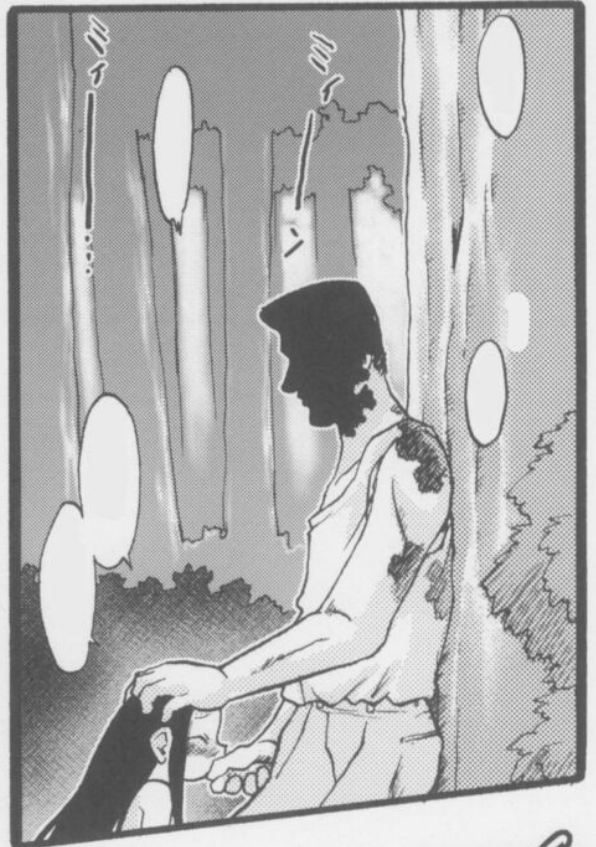
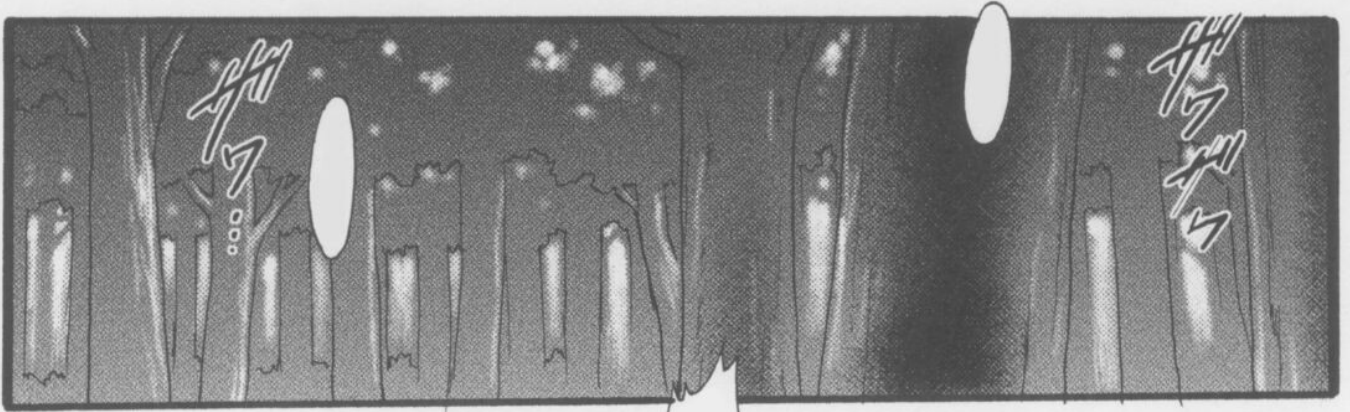
●メイキング・オブ・『ヌシ山』 25

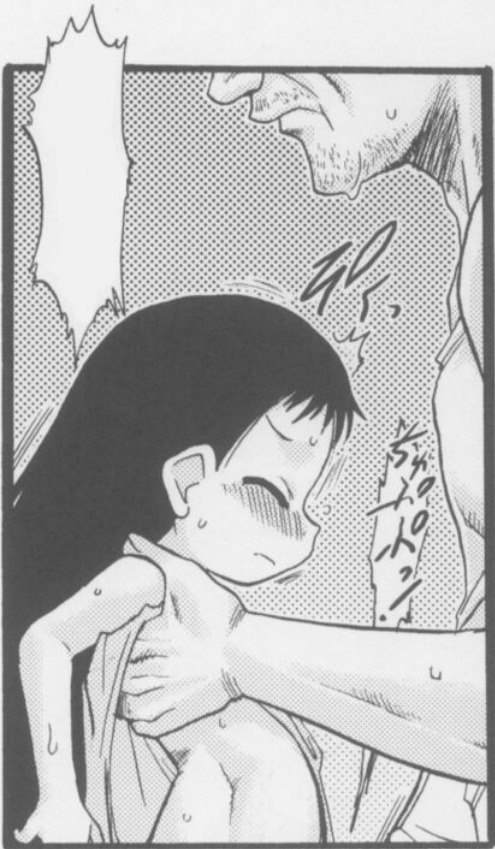
作・画●てるき熊



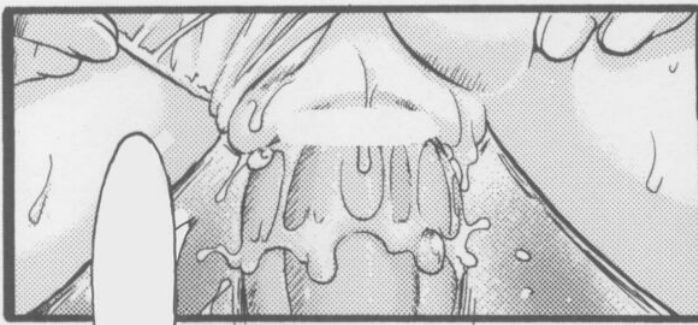
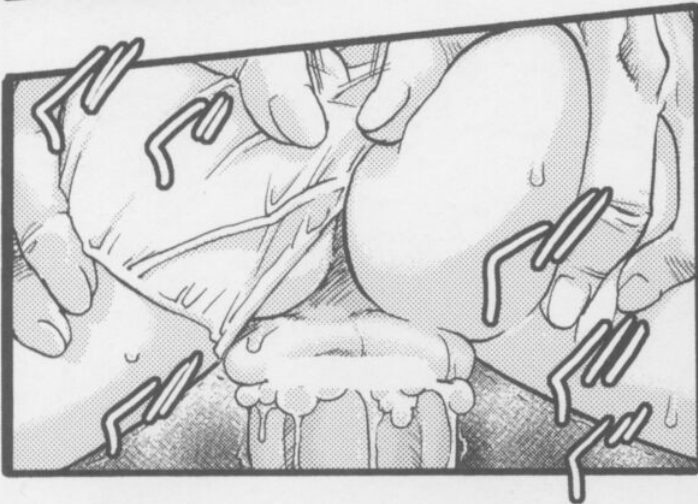
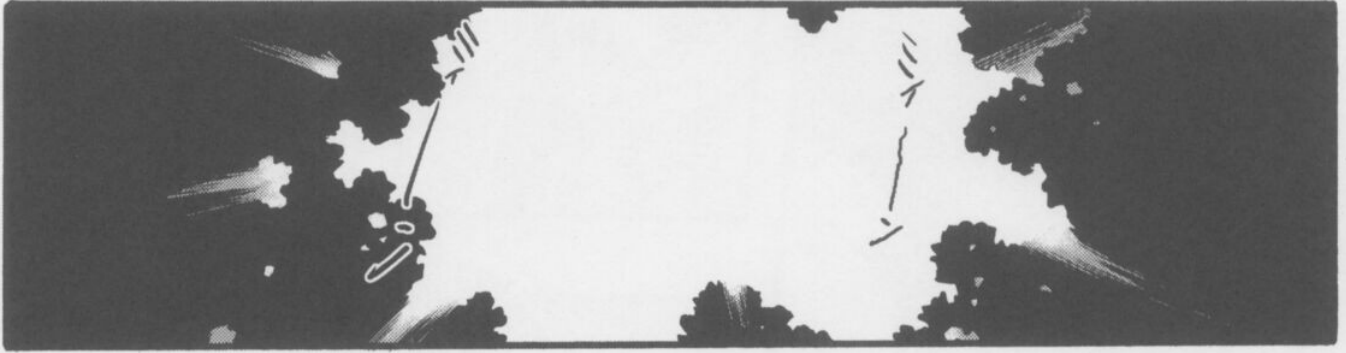


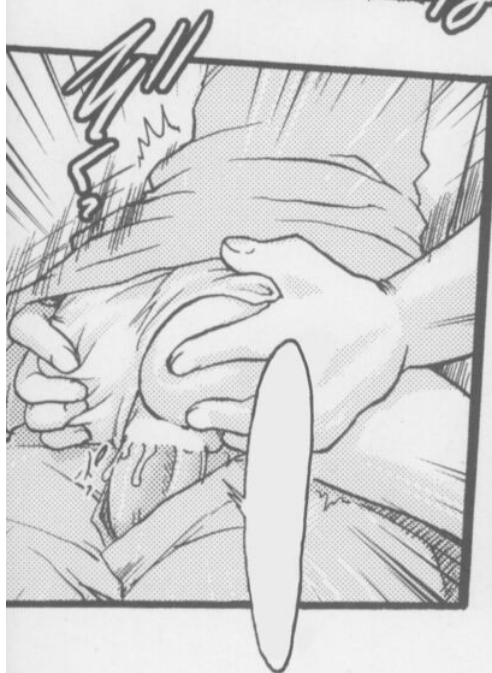




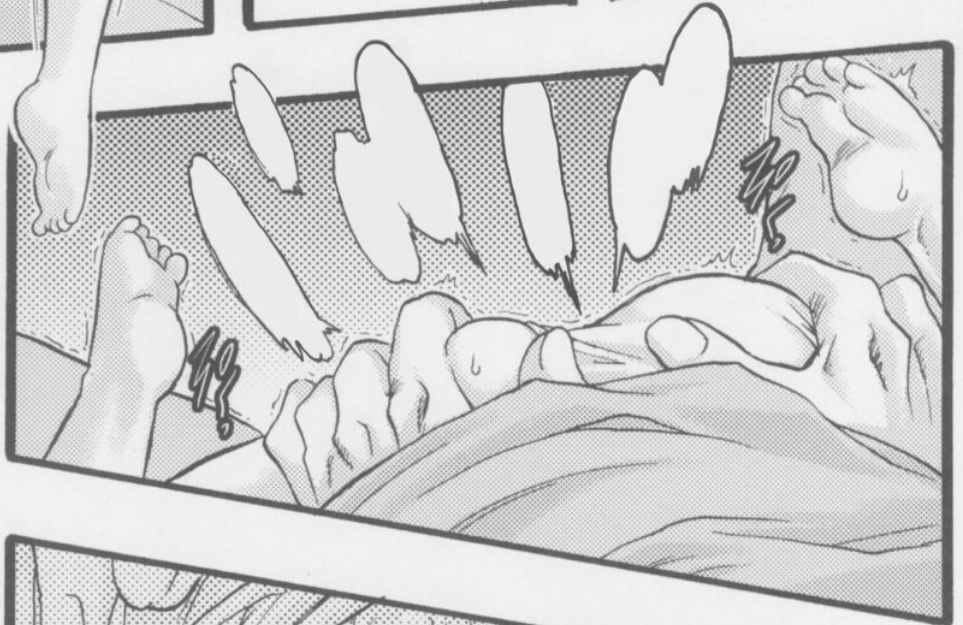






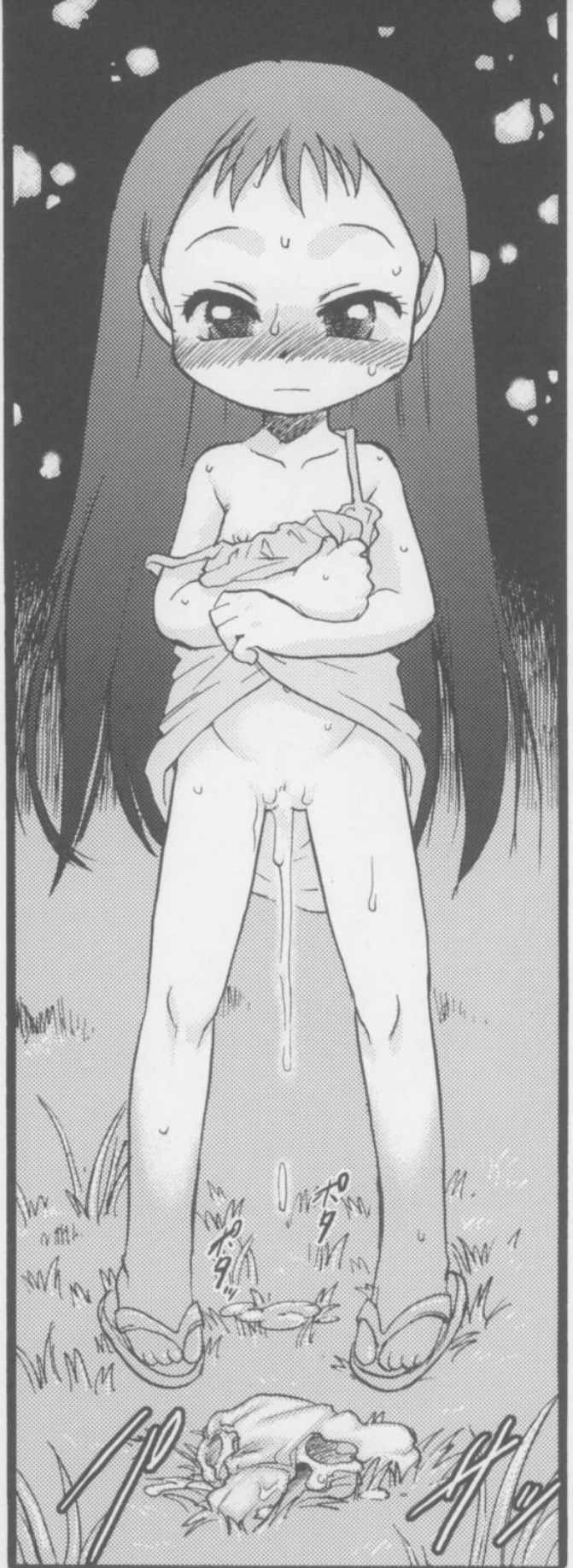
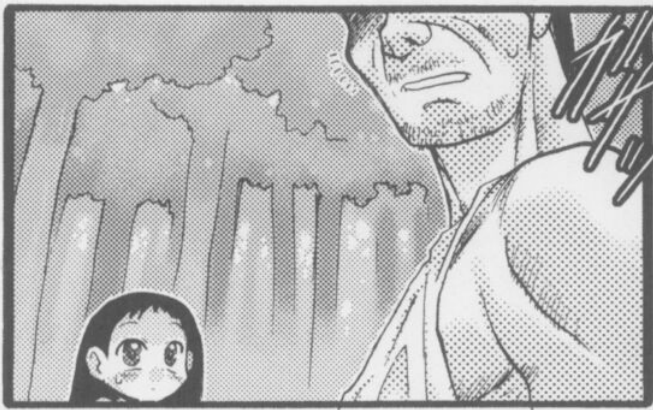


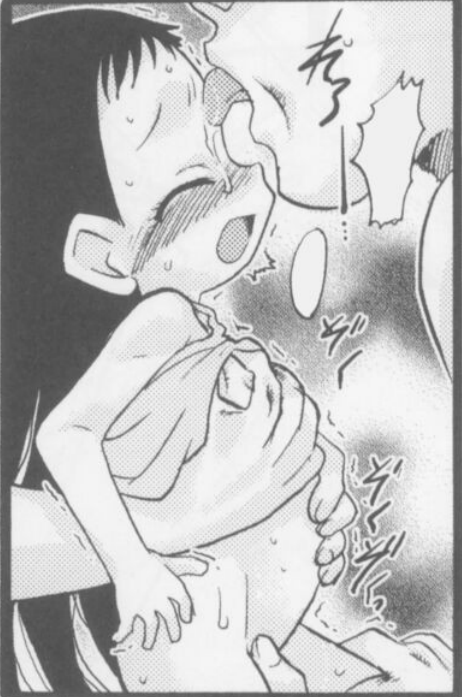
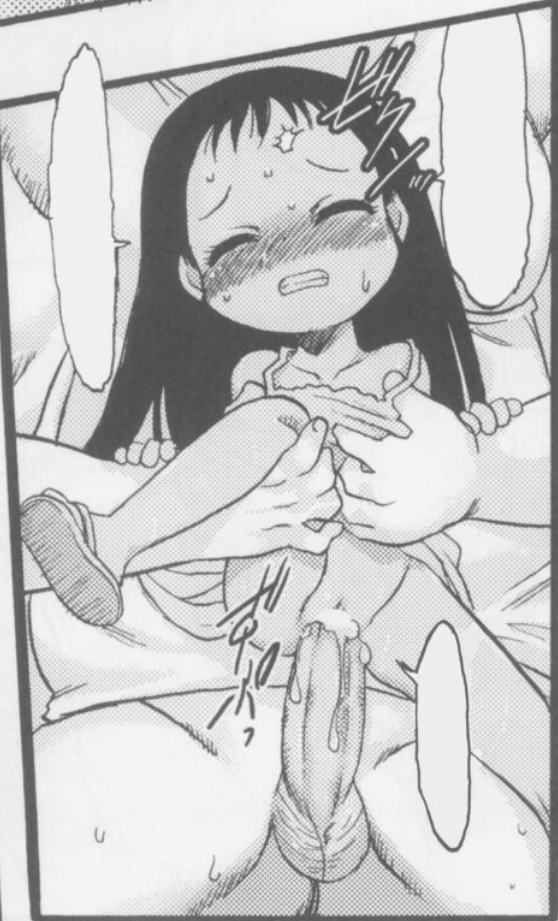
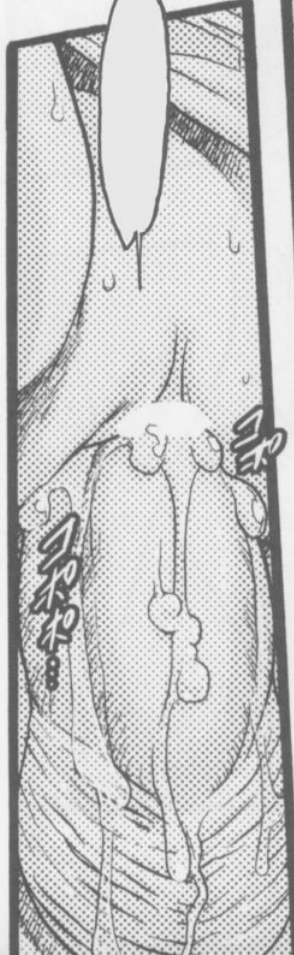








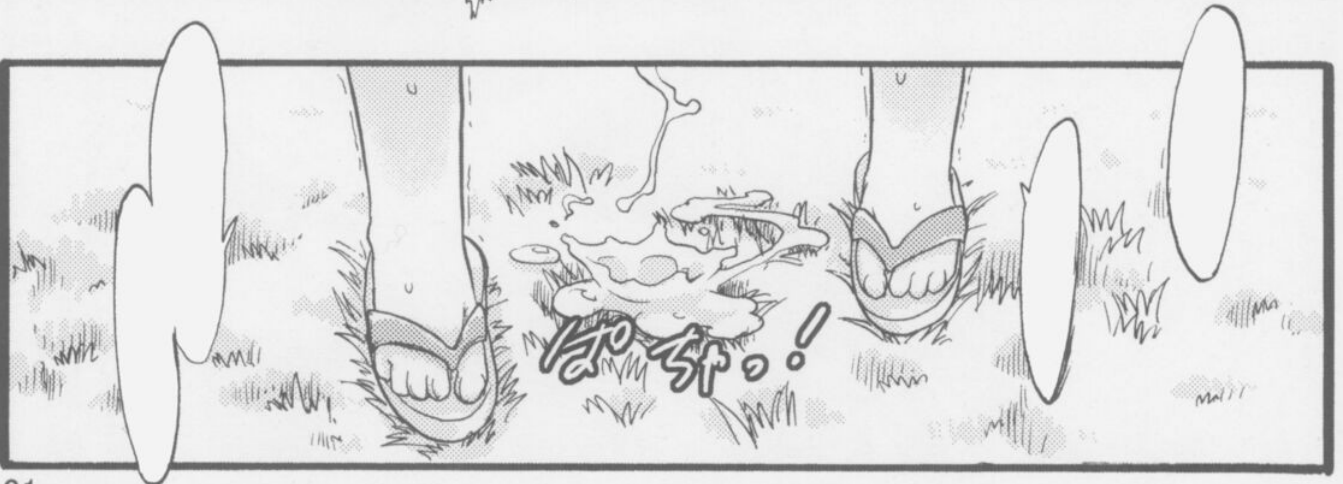
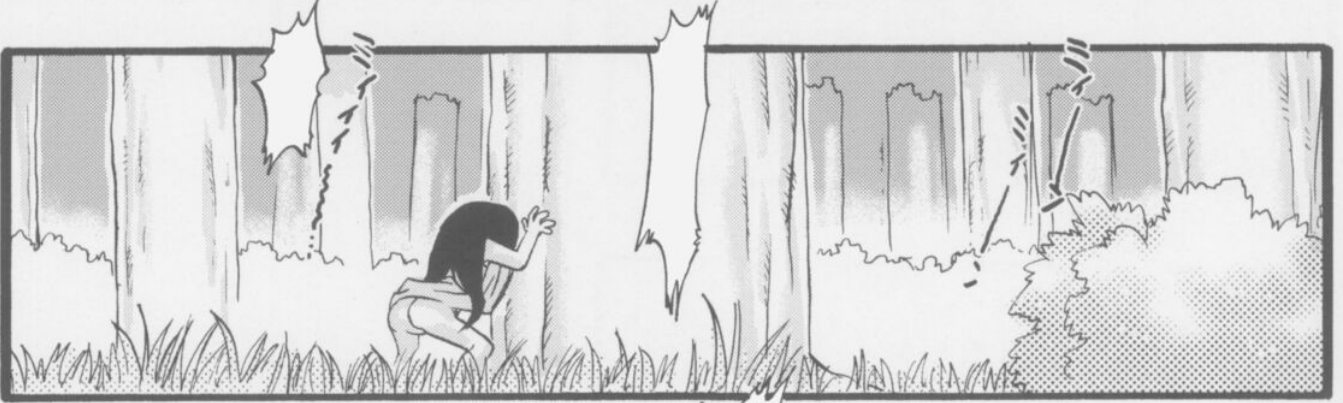
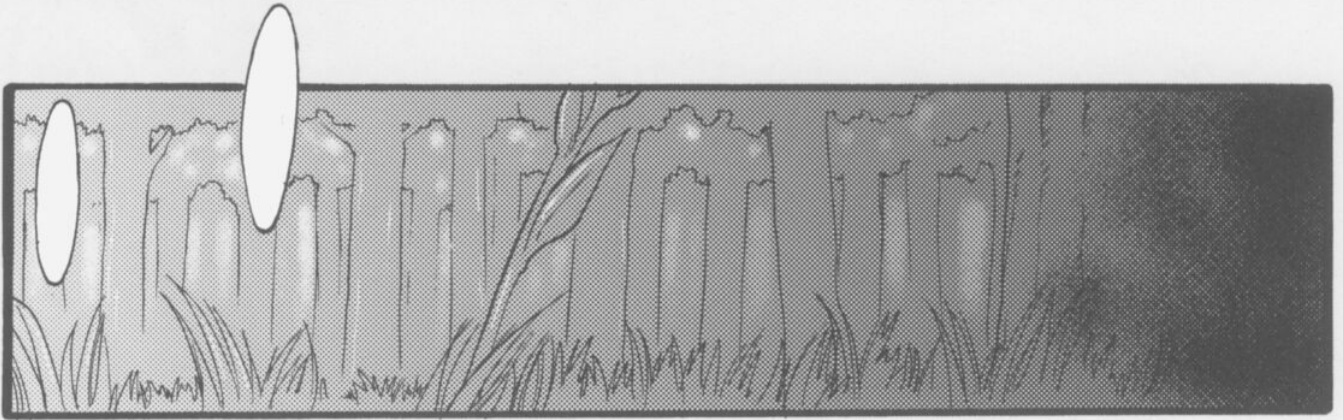


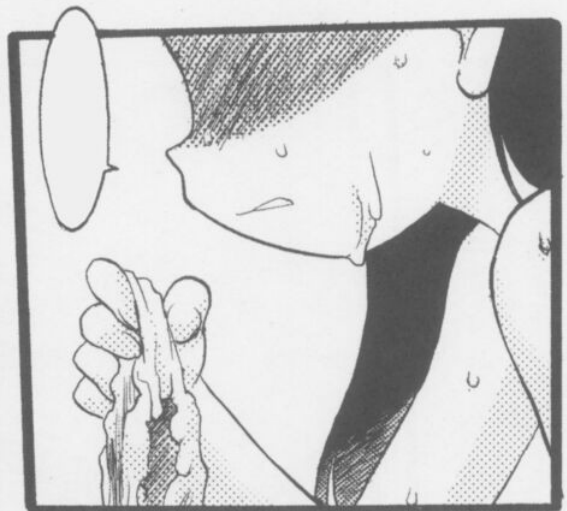
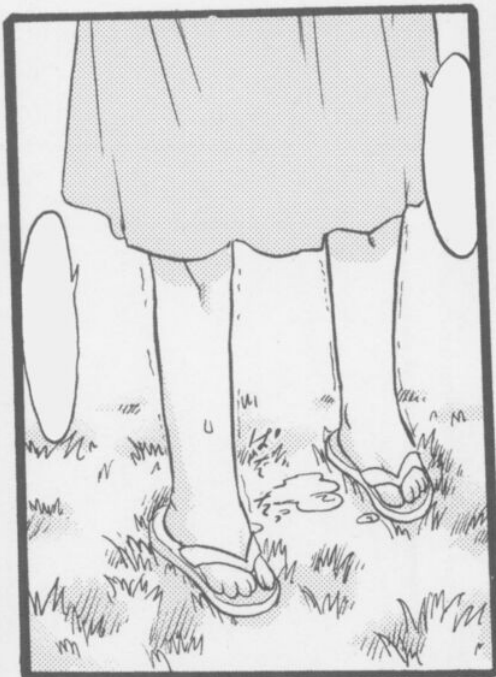
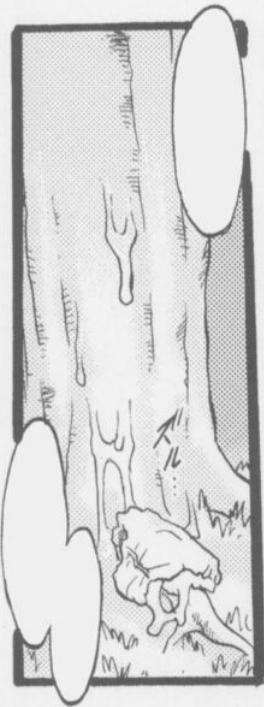
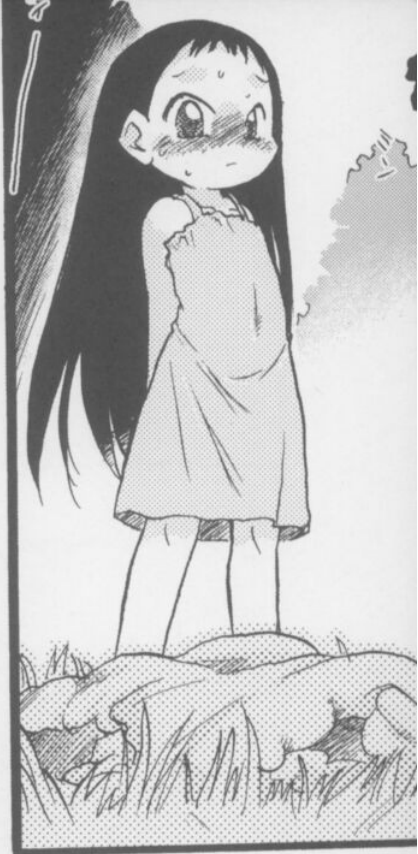
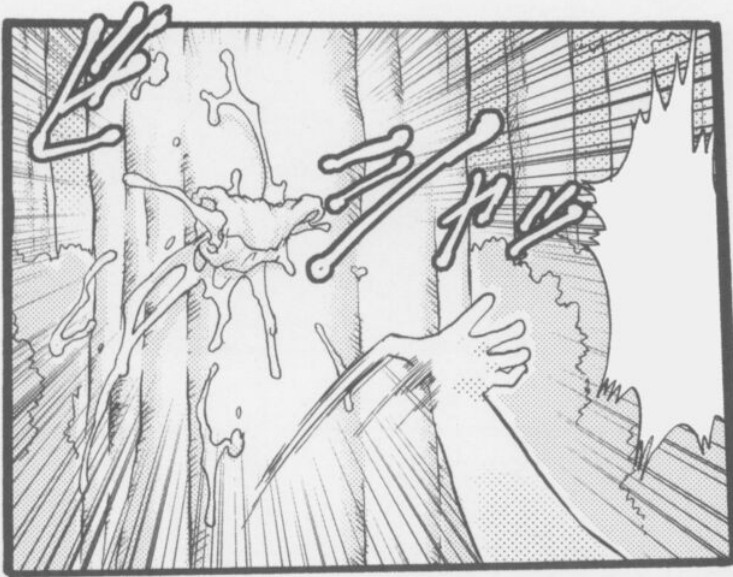












## ●解説●

今回のお話は元々『朱紅』編の続きを描く予定で、そのアバンタイトルとして冒頭に挿入される8ページの独立章だったのですが、色々あって本編のコンテを長くし過ぎ、どうしてもこれを完成させるには夏コミには間に合わないであろう状況になってしまいました。

そこで急遽その独立章を長めに描き替え、『断章』という体裁で発行する事にしたのです。

設定としては、征士が村にやってくるちょっと前の話であり、征士が来ている今も継続中の事として描かれています。

征士はまだ、村の奇習の犠牲者は朱紅だけだと思っています。

今回の話ではとにかく客観的な見せ方に拘りました。特に最初の、男一人との絡みのシーンでは人間の身長以上の俯瞰も使わず、エロマンガ的な実況系の喘ぎ声も言葉責めも無し、断面や透視の演出も避けました。

その後の二人組との絡みではちょっと俯瞰も使ってしまいましたが……。

日向子も後々には本編に絡んでくる事になりますが、暫くは『断章』という形で描く事になると思います。キャラ的にも気に入ってるので今後も色々描きたいと思います。

……しかし、体格差すごいなあ。

そして、今回からメイキング編もスタートしました。

朱紅やまゆ、征士や日向子達を俳優として扱う「スターシステム」については以前も書きましたが、それを更にタレントとして扱い、彼女等の舞台裏も色々描いてみたいと言う欲求に駆られました。

『ヌシ山』登場人物としてのキャラと、舞台裏のキャラ。一つのキャラで複数の性格を描き分けるのはかなり大変になるとは思いますが、なんとか楽しく描いていこうと思います。

今回のメイキングで描かれたイベントも後の『ヌシ山』とリンクしています。

自サイトのブログでもメイキングは展開しておりますので、そちらも是非見て頂きたいと思います。

ただ、今回のメイキングは吊り目キャラばかりになってしまったので、描き分けが非常に大変でした。

もうちょっと吊り目以外のキャラが増えると楽になっていく事でしょう。多分。

最後に、今回はちょっと頑張って表紙をカラーにしてみました。

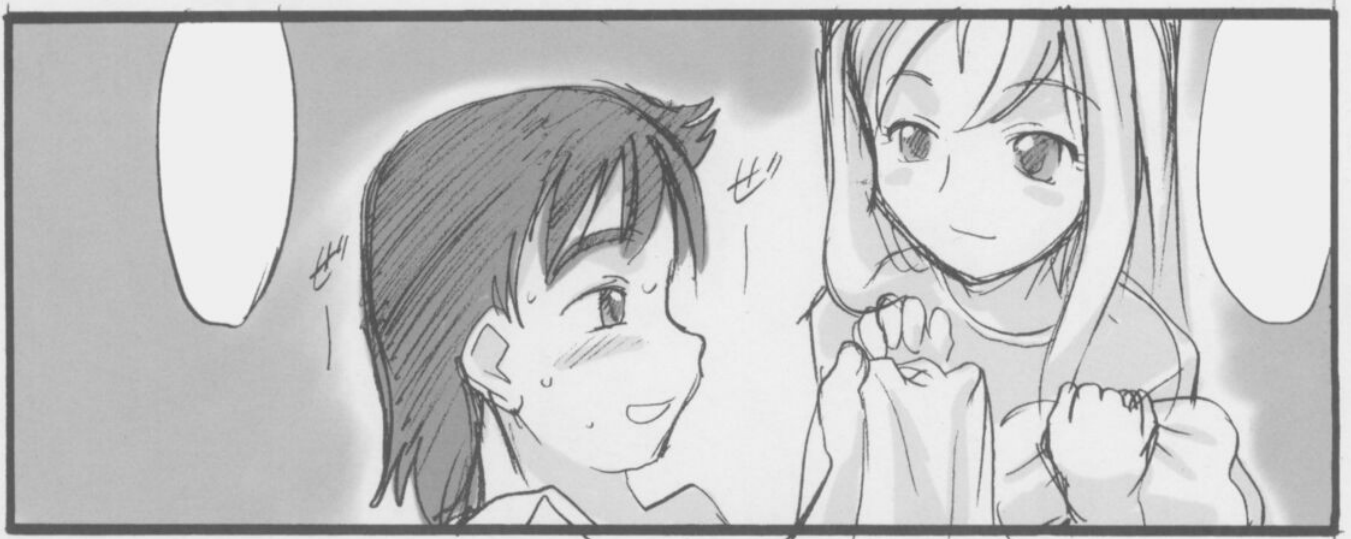
日向子の背中とお腹の質感が個人的に気に入っております。その辺りに注意して見て頂けると嬉しいです。

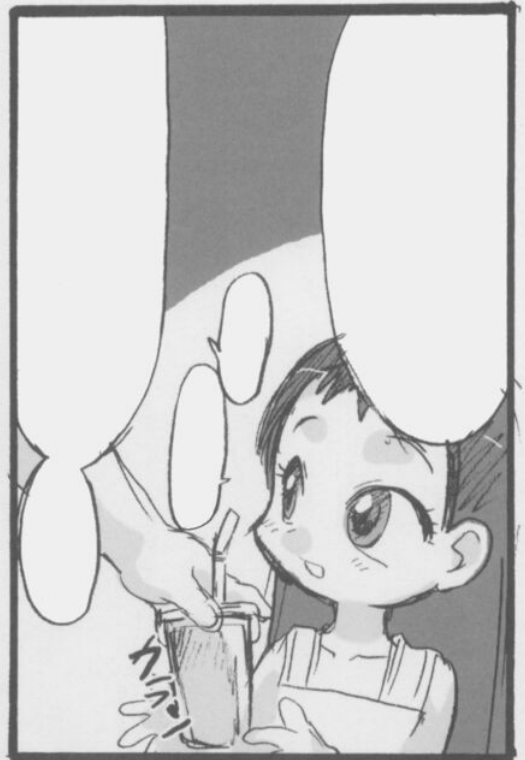
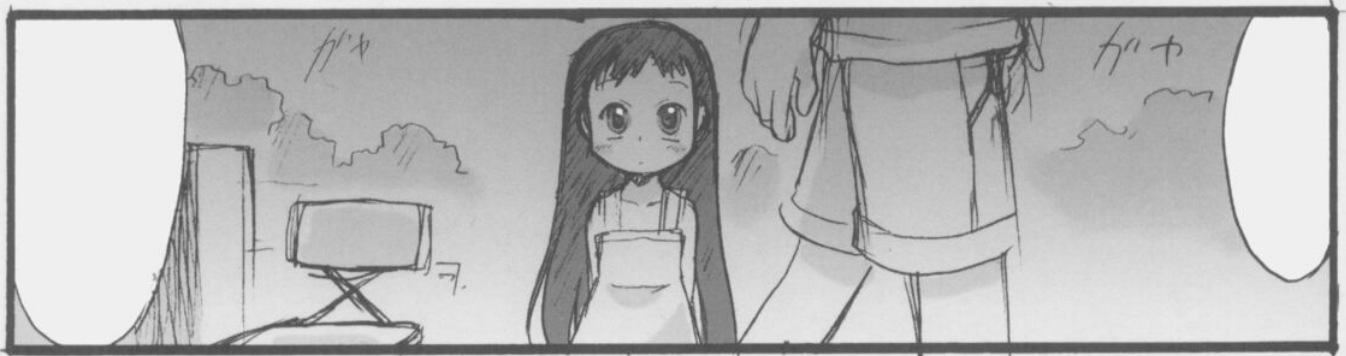


※続いては、

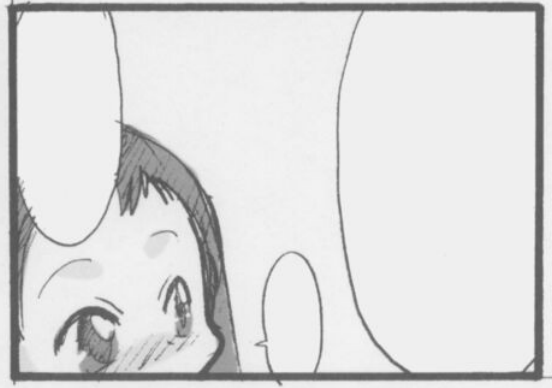
『ヌシ山メイキング』マンガ版でお楽しみ下さい。







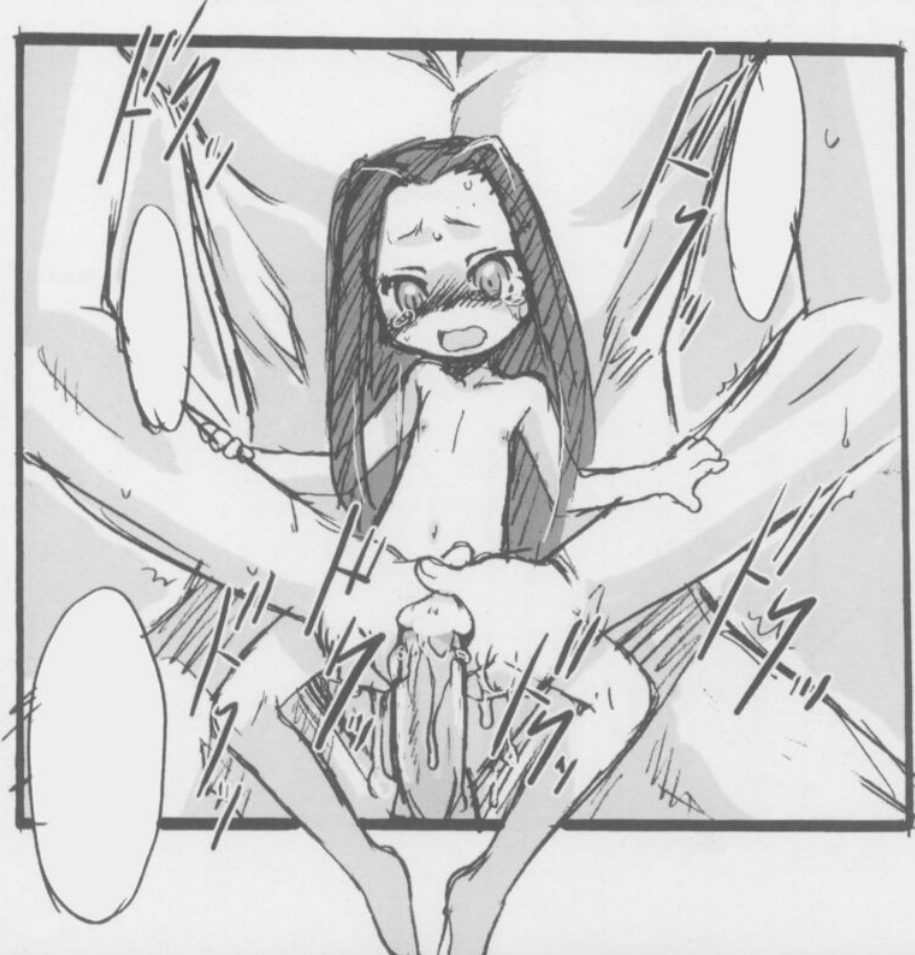




#2 『一年前の初体験』

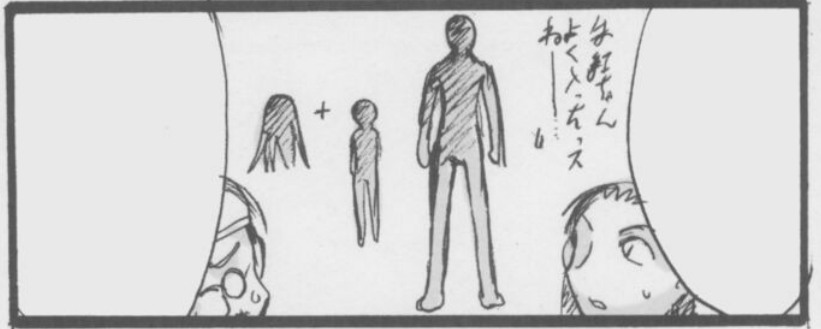






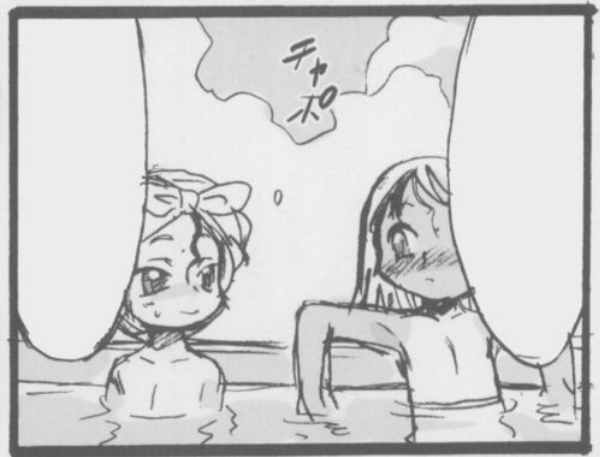
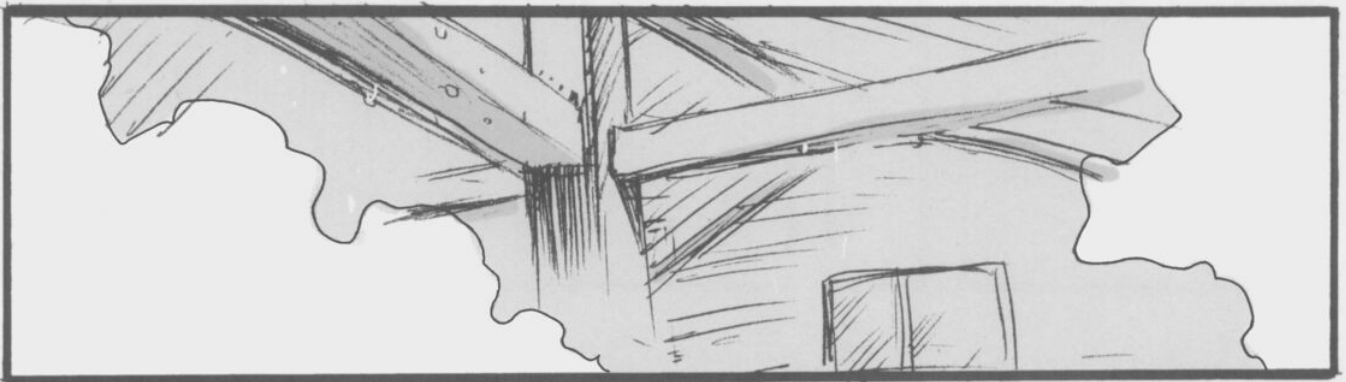
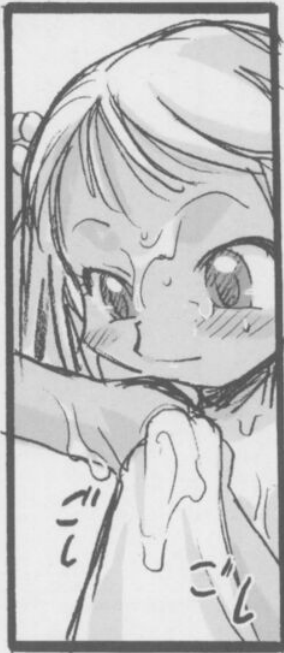


※ボスプロ……撮影終了後の補作業を指す言葉  
 二二では「撮影したものをデジタル処理でなん  
 とか出来ないか」という意味で使われている



### #3 『小悪魔……?』







●次巻に続く●  
(舞台裏の様子はブログでもお楽しみ頂けます)

どうも、てるき熊です。

『神の棲む山 第二巻』如何でしたでしょうか？

内容に関しては解説のページを見て頂くとして、とにかく今回は辛かったです。というか今も結構辛いです。

なんかもう数日前から咳が止まらなくて大変です。喉の奥から搾り出すような咳が延々続きいて肺のあたりが痛いです。

ただスケジュール的には私にしては珍しく、超ギリギリの入稿にはなってない感じです。

お蔭でカラー表紙も描けたし、マンガのクオリティもそれなりに上げる事が出来たと思います。

あとはこの本を手にとってくださった皆様が悦んで下されば幸いです。

出来れば感想など頂けると嬉しいです。メールでも掲示板でもブログのコメントでも。

さて、今後の予定ですが……まあ色々予定しています。

ヌシ山は勿論ですが、今の処確定しているのは…触手本かな。

私にしては珍しいテーマだと思います。あとは銭湯のシリーズもやりたいし、版權ものも手を出してみたいかも。

取り敢えずサイトをこまめにチェックして動向を見守っていて下さい。

あと、『ヌシ山一巻』も虎にて販売中ですので、どうか買ってやってください。

さて、これからなんとか体調を整えて、コミケに咳を引きずらないようにしないとまずいかな。

そして最後に、ネタ出しや入稿など色々と尽力して下さった「大鳥居 靴」さま。

貴方がいなかったらこの本は間に合ってませんでした。

本当に有り難うございました。

それでは次のコミケか、次の本でお会いしましょう。

皆様もお身体に気をつけて下さいね。

「神の棲む山・第三巻」

発行日：2006年8月13日

発行：P.AProject

著者：てるき熊

mail:asreen@box.email.ne.jp

web:http://www.ne.jp/asahi/playroom/asreen/

blog:http://paproject.4.dtiblog.com/

——御購入されました方々へ——

本作は個々において自己責任のとれるものと定められた年齢以上の方々への販売を前提に製作されております。

上記の条件に満たない方は、閲覧をお断りします。

お買い上げ後・読後は本品をしっかりと閉じ、お子様の手の届かない場所に保管してください。

大変に危険な内容を含みますので、18歳未満のお子様や、虚構と現実の区別のつかない大人の手の届かない場所に保管し、閲覧の際には本書の内容を真似してみようと思わない様な精神状態で安全にご覧下さい。